

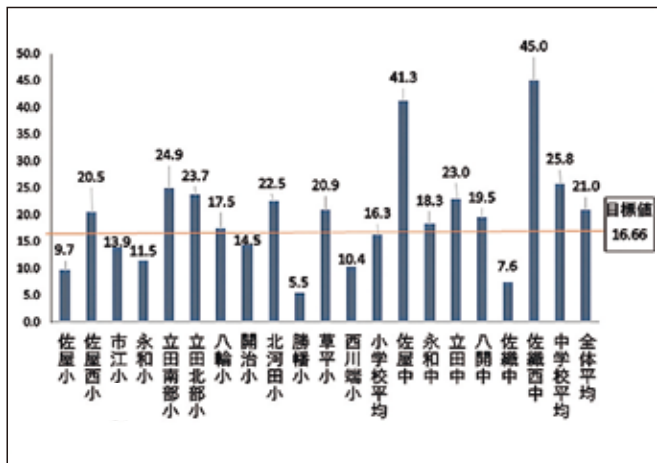


学校トイレの洋式化 早急に求める

河合 克平議員

令和4年度までにはおこなう

教育部長



▲洋式トイレ1器あたりの人数

問 学校トイレの洋式化の比率は。

答 小学校が47.0%、中学校が29.2%。全体で40.4%だ。

問 他市の状況は。

答 津島市の洋式化率が49.1%、弥富市が59.4%、あま市が56.4%となっている。

問 どのような基準で行うのか。

答 公益社団法人空気調和衛生工学会の学校に対する指針である、1器あたり16.66人を参考にし、整備を進める。

問 現在、洋式化が進んでいないのは。

答 小学校をまず優先的に進めてきた。1年に2校ほどを整備し、平準化しながら進め、小学校はこの

ような状況まで上がっている。佐織西中、佐屋中に関しては、非常に洋式化が遅れている。今後、中学校のトイレ改修を順次行うことによって、全域の小・中学校の平準化を図る。

問 今後どのように改修を行うっていく予定なのか。

答 令和2年度については、当初予算に上がっているとおりの。3年度で中学校と、小学校で遅れている八輪小、開治小を計画している。最後に、4年度で立田北部小、南部小を行う計画を持っている。

加齢性難聴の補聴器補助は

問 補聴器は、認知症の予防につながるのでは。

答 その根拠が十分に確立されている状況ではない。

問 独自に加齢性難聴の補聴器補助をすすめては。

答 厚生労働省は、補聴器を用いた認知機能低下予防の効果を研究している。それを見ながら、進める。

問 立田北部小、立田南部小を4年度に行うとのことだが、老朽化や臭いの問題で先に行うべきではないか。建て直す計画があるのか。

答 2年度に老朽化対策検討委員会ができる。50年以上の建築の建物の方角性が示される。そういった点も視野に入れている。